

# 創造

No.  
61



## CONTENTS

● エッセイ	2
● 第37回「とやま賞」	3
● 高等教育振興事業	7
● きらめき未来塾	8
● 「夢の卵」育成事業、「学ぼう！ふるさと未来」支援事業	10
● 令和3年度財団事業概要	11

エッセイ

ガラスの街とやま

富山市ガラス美術館 館長

渋谷 良治 氏



見出す事を可能にするということを強く実感した。そうした環境を富山で作り、学生を育てることが富山の学校の大きな特徴にしたいと考えた。

そこで日本人の作家に加え、ガラスの長い伝統と優れた教育システムを持つチェコと、ガラスアートとしてのガラス制作の先端に行くアメリカの作家を指導陣に加えた。

チェコとアメリカからの常勤講師以外に、ワークショップやアーティスト・イン・レジデンスで年に3度、世界の著名なアーティスト累計100名以上が富山で学生達に熱心に教えてくれた。開校以来30年、卒業生も530名余り、富山では100名余りの作家が工房を構え創作活動をしている。

富山市のガラス造形研究所開校準備のために設備やカリキュラム、教員の配置のプランを進め、私が富山に来たのは1990年、学校が開校する1年前のことである。

今では新幹線の開通で首都圏とのアクセスも良くなり、インターネットによる情報も得やすくなったが、当時は世界のガラス界の状況は富山になかなか入ってこなかった。

私は2年のオランダでのガラス留学の経験から、異なる環境のバックグラウンドを持つ人々が集う場が、新たな自分を

380万人もの方々が訪れている。(令和2年12月末現在)

2018年から開催の国際公募展「富山ガラス大賞展2018」は世界のガラスアートの最新の成果を集め、その発展に貢献した。ドイツの「ノイエス・グラス」等、国内外のガラス専門誌にも成果が掲載された。また、第2回目の「富山ガラス大賞展2021」では、51の国と地域から前回を上回る1126名の応募があり、国際的な審査が行われる予定だ。今後「富山ガラス大賞展」は、トリエンナーレ方式で3年ごとに開催し、世界の最新の成果を集め、その大賞と金賞の作品をガラス美術館にコレクションする。ガラス美術館は、多くのデータを蓄積することで、将来、世界的な現代ガラスアートを発信する美術館となることを目指している。

そして、30年余りに渡る「ガラスの街とやま」の事業の一環として、2015年8月に富山市ガラス美術館は開館し、私は館長としてガラス芸術の振興に力を注いでいる。

世界的に有名な建築家 隈研吾氏が設計を手掛けた「TOYAMAキマリ」の中にガラス美術館は、1950年以降の現代ガラスを中心に様々な美術表現を紹介し、中心市街地にある事から街の活性化も担っている。昨年5周年を迎え、常設展とこれまでに24本の企画展を開催し、100万人以上が観覧に訪れ、図書館を含める「TOYAMAキマリ」には、

また、2019年には京都で行われた国際博物館会議に来日した海外のガラスの美術館関係者や、アメリカにある世界最大級のガラス美術館であるコーニングガラス美術館の方々が富山市を訪れ、研究所、工房、ガラス美術館を視察、「これ程ガラスの総合的な取り組みをしている地域はない」と富山の成果に驚かれた。こうした海外の美術館の訪問により現在連携の話も進めている。

今年、1991年にスタートした富山ガラス造形研究所も30周年を迎えようとしており、美術館で記念展が行われる予

定だ。富山の葉瓶製造の歴史から始まった富山のガラスは、「ガラスの街とやま」の事業として、「人材の育成」「ガラスの産業化の推進」「文化芸術の振興」として、学校、工房、美術館として発展し、着実に歩みを進めている。

文化は長い年月をかけ、熟成される。富山市のガラスの取り組みは、まず「人材を育成する」という独自の方針から出発し、そこから生まれた多くのつながりの中で、新たな文化を育み、多くの優秀な人材を輩出している。この「人材の育成」が、将来、文化の定着と地場産業の育成に結びつき、この地が「ガラスの街とやま」と呼ばれる日を目指して、次世代に引き継がれ、時代を重ねる中で、世界に認められるような「ガラスの街」に発展する事を大いに期待する。

プロフィール

渋谷 良治 (しげや りょうじ)

富山市ガラス美術館 館長

- 1956年 埼玉県生まれ
- 1981年 多摩美術大学彫刻科卒業
- 1984年 東京ガラス工芸研究所 研究科卒業
- 1989年 Gerrit Rietveld Academy (ヘリットリートフェルトアカデミー) ガラス科卒業 (オランダ)
- 1990年 富山ガラス造形研究所 設置準備事務局
- 1991年 富山ガラス造形研究所 主任教授
- 2015年 富山市ガラス美術館館長に就任

第37回

令和2年5月21日(木)

# 「とやま賞」贈呈式

## 贈呈式・理事長との懇談

「とやま賞」とは…

富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設されました。

受賞対象者は、富山県出身者または県内在住者で、学術研究、科学技術、文化、芸術及びスポーツの分野において顕著な業績をあげ、かつ将来の活躍が期待される個人または団体の活動を奨励するものです。



石塚選考委員長による選考経過報告



石井理事長より賞状・目録贈呈

第37回「とやま賞」贈呈式は、去る5月21日に、富山電気ビルにて執り行われました。

贈呈式では、受賞者に石井理事長から賞状及び奨励金目録が手渡されました。例年行われる受賞者による記念講演は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、贈呈式に先立って理事長との懇談が行われました。



## 今回の受賞者

### 理事長との懇談

学部卒業後は消化器外科の道を歩み、食道癌を専門にした私は多数の食道癌手術を日々執刀する一方で、食道癌の難治性と既存治療の限界を痛切に感じ、食道癌の予後向上に向けた研究に長年取り組んできました。食道癌は、悪性度が高く周囲への転移をきたし易いため、術前に化学療法を行ってから手術するのが標準です。しかし、同じ手術をしても化学療法がよく効いた場合のみ結果が良いので、手術前に治療効果の判定や予後を正確に予測することが、それぞれの患者さんに

この度は、伝統と名譽ある「第37回とやま賞」を賜りまして、財団関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。  
大学進学とともに生まれ故郷の富山県を離れてはや四半世紀、日常の診療・研究は常に多忙を極め、年末年始の帰省時しか過ごすことが叶わなかった富山県より、このような賞を頂くのは格別の喜びであり、古里の学校生活、恩師の先生方や友人・家族、そして無意識のうちに影響を受けた富山の自然環境が改めて懐かしく有難く思い起こされます。

術前画像診断による難治性消化器がん  
個別化医療確立への貢献・術前化学療法  
療法の新たな効果・予後予測法の開発！



牧野 知紀 氏

大阪大学大学院医学系研究科(消化器外科) 助教

学術研究部門 医薬分野「消化器外科」

適した「個別化医療」へと繋がります。本研究では、術前のCTやPET画像を用いて術前化学療法の治療効果を判定する新たな方法を開発しました。この判定法は、従来法と比較してより正確な予後予測を可能とし、その後の治療方針決定に大きく役立ちます。また食道癌に限らず他の癌にも応用できることから、その有用性・価値について多くの注目を集めました。

今後は頂いた賞を一生の励みとし、食道外科医としてこの難治性癌の制圧を目指して一層努力して参りたいと思います。文末にはなりますが、今回推薦頂きました大阪大学大学院医学系研究科長 森井英一教授、日頃よりご指導頂いております消化器外科 土岐祐一郎教授、江口英利教授をはじめとする大阪大学の皆様に深く御礼申し上げます。

学術研究部門

理工分野【光工学】

東北大学多元物質科学研究所 准教授



小澤 祐市 氏

ベクトルビーム光源の開発と超解像光イメージングへの応用

この度は、大変すばらしい賞を賜り、誠にありがとうございます。私が大学教員として採用された当時に「とやま賞」の存在を知り、この名誉ある賞をいつかは頂けるように、と思いつながら研究活動

を行って来ました。私は、高校卒業以来、故郷を離れて仙台の地で過ごしてきました。とは言っても、地元への思いは変わることは無く、富山県は私の誇りです。その意味でも、今回の受賞は大変光栄に思います。今回の受賞に際し、学生時代から今に至るまで、長年ご指導を頂いている東北大学多元物質科学研究所教授 佐藤俊一先生には非常に多くのご協力とご支援を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。また、所属する佐藤研究室の学生、スタッフならびに他大学等の様々な研究グループの方々の協力関係があつたからこそ得られた研究成果がほとんどであり、感謝申し上げます。

私の研究は、レーザー光を用いた様々な応用分野において、光そのものを巧みに操ることで、それらの応用分野における性能を大きく向上しようという取り組みです。光には波の性質があり、その波には振動する方向があります。この波の振動方向を光ビームの断面内で空間的に分布させると、これまでのレーザー光では得られない性質が生ずることが最近わかってきました。私は、ベクトルビームと呼んでいるこの新しい光をレーザー装置から発生させる方法を開発しました。また、このような光を用いると普通の光よりも小さく集光できることを見出し、これを応用したレーザー顕微鏡の開発によって空間分解能を大きく向上させることに成功しました。光に関する研究は長い歴史がありますが、まだ知られていない性質や可能性を多く秘めています。私は、このような光の持つ潜在能力を最大

限に引き出し、今後も新たなイメージングやレーザー加工などの様々な応用に展開していきたいと考えています。

科学技術部門

高分子材料科学

富山県立大学工学部 准教授



遠藤 洋史 氏

表面制御技術を駆使した高分子系多機能性マテリアル群の開発

この度は名誉ある「とやま賞」を賜り、富山県ひとつくり財団ならびに関係者の皆様に心より御礼申し上げます。また、これまでご指導・ご協力頂きました多くの先生方、学生諸氏、共同研究者の皆様ならびにいつも支えてくれる家族にこの場を借りて感謝申し上げます。

私は山形県出身で、学部・修士を富山大学工学部物質生命システム工学科(現・応用化学コース)にて学びました。特に、研究室配属後において北野博巳先生(富山大学名誉教授)の厳しくも温かいご指導のもと研究の基礎をたたき込まれました。当時は源明誠先生(現・富山大学准教授)が助手として着任され、後輩には中路正君(現・富山大学准教授)や安楽泰孝君(現・東京大学特任准教授)が在籍していました。アカデミア志向も高い活発な環境で、日夜研究に取り組んでいくことを思い出します。

東北大学で学位を取得してからは、つ

くば↓名古屋↓東京と国研や大学を渡り歩きました。そして2015年、北陸新幹線開業と同時に富山県立大学へ着任、11年ぶりに富山へ戻って来ました。学生時代と変わらない美しい環境に加え、ますます住みやすくなった富山は私にとって第2の故郷であり、公私共に充分した日々を過ごしています。

今回受賞頂いたテーマは、前職の東京理科大学(河合武司研究室)から継続して行っている内容です。私の専門分野は高分子材料科学であり、主に材料の表面や界面をデザインして物性制御や機能化を図ることにフォーカスしています。その中でもゴム材料の柔らかさに着目して、表面にリンクル(いわゆるシワ)を構築する独自技術を開発し、電気・光学・生体適応特性などの様々な機能性を付与することを試みてきました。また、ナノオーダー膜厚である極薄の有機シートや無機シートフィルムを活用して環境・エネルギー問題を視野に入れた、高性能触媒や複合材料の開発などにも取り組んで来ました。めまぐるしく変化する今だからこそ、変わらざるを得ないこと、変わらなければいけないこと、変わらざる大切にするところを見極める慧眼と柔軟さを大事にして、今後も学生と共に励んでいきたいと思えます。彼らを見てみると、マスクの下からは笑顔の嬉しい表情、じっと耐える険しい表情、物事を考える真剣な表情を垣間見ます。笑顔に満ちて浮かぶシワ、ハッピーリンクル(とも言える!?)の表情となる教育・研究活動に、これからも邁進していく所存です。

文化・芸術部門 彫刻

日展 日本彫刻会、富山県彫刻家連盟所属 会社員



森田 一成 氏

未来多い若き彫刻家

この度は、栄えある「とやま賞」を頂き誠にありがとうございました。

富山県ひとつくり財団ならびに関係の皆様、推薦して下さいました彫刻家の熊谷喜美子先生に心より感謝申し上げます。

私が彫刻を始めたきっかけは高校1年生の時、日展作家の横山丈樹先生との出会いにあります。ちよっとした用事で先生の家へ行き、作品を制作している先生の姿を見て「僕もやってみよう」と思ったのが全ての始まりでした。当初は先生も両親も反対していましたが、先生にはデッサンと塑造の個人指導をしてもらい、美大への進学を両親にお願いする時も一緒に来てもらった人生の恩人です。

井波高校の普通科を卒業後、熊本の崇城大学に進学し、学部で4年間人体制作の基礎を学び、修士課程の前期で2年、後期で3年間助手を務めながら作品制作と研究を続けてきました。

平成24年(2012年)に富山で就職が決まったのをきっかけに大学を離れ、翌年に中古の一軒家を購入。大学での先生の「自分のアトリエは自分で作ってこ

そ本当の彫刻家だ」の言葉に感銘を受け、購入した家の内装を全て解体し、アトリエのある住居にセルフリノベーションしました。住めるようになるまでは2年以上掛かりましたが、自分のアトリエを造るといふ夢をかなえることが出来ました。

学生の頃は、美術の教諭や大学の教授、彫刻家として生きていく人生に憧れていました。今は自分の作品を制限されずに制作出来る事と、展覧会への出品を継続しながら生活が出来ている事に喜びを感じています。

主に展覧会や美術展への出品に向けて制作をしているのが現状ですが、いつか納得の出来る作品が揃った時に「森田一成彫刻展」を開くのが次の目標です。

今回の受賞は私にとって大変励みとなる賞になりました。これからも精進してまいります。本当にありがとうございました。

文化・芸術部門 建築

富山大学芸術文化学系 准教授



横山 天心 氏

富山を活性化させる建築デザインの探究とその実践

この度は名誉あるとやま賞を賜りまして誠にありがとうございました。受賞に値する業績を残せていたか不安ではありましたが、応募最終年齢となったためチャ

レンジさせていただきました。過去の受賞者リストを拝見したところ建築部門では初の受賞となっております、ただただ恐縮しております。

私は南砺市旧井波町に彫刻家の三男として生まれ、大学進学迄の18年間を富山でのびのびと過ごしました。東京での10年程の学生生活の後、富山大学に赴任し教育・研究活動を始めました。帰郷して改めて富山の美しい自然と厳しい気候を、そして豊かな伝統文化に気付かされ、それらを活かした富山らしい建築の在り方を探究してきました。

建築としては、富山の寒く暗い冬を、家のどこにいても明るく温かく過ごせる「House O」、新興住宅地での新たなコミュニティの核となるよう、公園と一体化した「木津の庄コミュニティセンター+公園」、高岡の伝統工芸と現代産業の粋を散りばめられた「新高岡駅観光交流センター」、50年後も変わらぬ魅力を発信する県都の玄関口に相応しい「富山駅南北自由通路+南口交通広場」、将来歯抜け状態になるであろう町屋街区を活き活きとした街並みに変えていく「街のヴォイドに開く町家」の設計に関わってきました。まちづくりとしては、重要伝統的建造物群保存地区に指定された高岡市金屋町で行った、町全体を工芸のゾーンミュージアムにした「金屋町楽市」、金屋の街の魅力を余すところなく体験できる「ミラレ金屋町」、富山市八尾町で行っている町屋の窓明かりを影絵で彩る照明実験「街明かりプロジェクト」に携わり、住民の方々と共に、活

き活きとした地域づくりを実践してきました。このように建築やまちづくりを通して富山を元気にすることが私のライフワークです。

最後になりますが、これまでの活動にご指導・ご協力・ご支援頂いた皆様方、そしていつも陰ながら支えてくれる家族にこの場を借りて感謝申し上げます。この受賞を励みに、今後も微力ながら故郷富山に貢献できるよう、研究・教育に邁進していきたいと思っております。

スポーツ部門 バドミントン

トナミ運輸株式会社



保木 卓朗



小林 優吾  
ペア

第25回 世界バドミントン選手権大会 男子ダブルス準優勝

この度は、栄誉ある「とやま賞」を受賞することができ、たいへんうれしく思います。また、この受賞に際しましてご高配を賜りました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

私たちがペアが世界選手権準優勝を果たすに至るまで、決して順風満帆だったとは言えず、むしろ苦難の連続であったと、いっても過言ではありません。その中で

も私たちの運命を左右することとなる、いくつかのターニングポイントがありました。

### 【田中】

遡ること12年前、私たちの出身地は宮城県・山口県と異なりますが、バドミントン道を志すため共に福島県富岡町立富岡第一中学校へ越境入学しました。この学校は、連携型中高一貫校（富岡町立富岡第一中学校 ↓ 福島県立富岡高等学校）で中1〜高3までの生徒たちが寮生活を共にし、毎日バドミントンに打ち込める環境でした。そこで、大堀均先生当時富岡高校総監督・現トナミ運輸コーチ）と出会い、厳しくも楽しい有意義な寮生活を通し、基本的生活習慣を確立させ、早くして自立できたものと確信しています。また、日々の厳しい練習を通して、バドミントン技術は勿論のこと、諦めない心・挑戦する心など内面的にも大きく成長できた時期だったと思います。

### 【東日本大震災】

私たちは中学3年生、卒業式当日の出来事です。味わったことのない地震・津波、さらには富岡町が福島第一原発から約10kmに位置していたため、メルトダウンによる緊急避難など、生まれて初めての命の危機を感じました。この経験から命の尊さを再認識したと同時に、大好きなバドミントンができる喜びを知り、どうせやるならもっともつと強くなりたいと思うようになりました。私たちのメンタルを支えているのは、今でもこの経験によるものです。

### 【トナミ運輸】

社会人1年目、先輩方とのレベル差は歴然で、思い通りの結果を残すことができませんでした。またトナミ運輸メンバーのほとんどが日本代表選手だったため、普段の練習は私たちも含め4人、強くなりたくて必死に練習していたことを思い出します。今では日本代表A選手として活動していますが、間違いなくこの時期の思いや取り組みが、私たちを強くしてくれたものと思います。

これらターニングポイントも含め、現在に至るまでたくさんの方々と出会い育てていただきました。まだまだ発展途上の私たちですが、これからも周囲への感謝の気持ちを忘れずにさらに精進を重ね、子供たちに大いなる夢を与え、富山県の皆様さらには故郷福島県の皆様にもビックニュースを届けられるようなプレイヤーを目指してまいります。そしていつの日か「とやま賞」に相応しい人間に成長したいと思います。



## お知らせ

# 第39回「とやま賞」の候補者推薦募集について

募集について、以下のように行う予定です。（令和3年3月時点）

### 賞を贈呈する部門・分野

学術研究部門（医薬・理工・人文社会の3分野）、科学技術部門、文化・芸術部門、スポーツ部門の4部門3分野

### 候補者の条件

下記の（1）と（2）の条件をすべて満たすこと。

（1）富山県出身または富山県在住の者

（2）各部門・分野ですぐれた業績を挙げ、活躍が期待される45歳までの個人または団体

※その他の条件については、当財団HP

<http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/data/boshu.html>

### 推薦募集期間

令和3年10月初旬～令和3年11月中旬

## 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対する支援(助成金の交付)を通じて、本県の学術、文化及び産業の発展を図りました。

### 助成内容と助成先 (令和2年度の助成見込み: 29件 10,238千円)

#### ●学会等の開催に対する助成事業 3件234千円 (助成率1/3 上限100千円)

- ・富山救急医療学会 第38回学術集会 (富山大学)
- ・第63回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会総会 (富山大学) など



#### ●公開講座、シンポジウム等の開催に対する助成事業 10件1,865千円(助成率10/10 上限300千円)

- ・もっと女の子がHAPPY! に生きる～自分の身体を知り、自分でコントロールする～ (富山県立大学)
- ・富山国際大学開学30周年記念講演会 富山から世界へー万葉集の魅力 世界に発信ー(富山国際大学)
- ・秋季公開講座 (高岡法科大学) など

#### ●研究助成事業

##### 【若手研究者育成枠】 5件1,714千円 (助成率 定額 上限350千円)

- ・仮設定場の「軽量化手すり」の締結強度に関する研究 (富山大学)
- ・打撃試験による火災で劣化した鉄筋コンクリート造建築物における鉄筋の付着性能の非破壊評価手法の開発 (富山県立大学)
- ・我が国における1950年代改憲論の基礎的研究 (高岡法科大学) など

##### 【地域課題解決枠】 4件1,605千円 (助成率10/10 上限500千円)

- ・360度空間におけるストーリー考察 ー富山観光スポットによる事例構築ー (富山大学)
- ・子ども食堂を核とした地域ネットワーク確立における支援の在り方の分析 (富山国際大学) など

#### ●大学連携支援事業 (大学コンソーシアム富山への支援) 2件320千円 (助成率1/2)

- ・学生地域リーダー塾 など

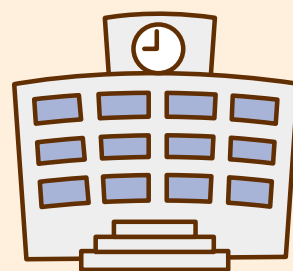
#### ●私立大学振興事業

##### 【学生確保推進支援事業】 4件3,840千円 (助成率1/2 上限1,000千円)

- ・オープンキャンパス
- ・就職・キャリア支援事業

##### 【大学活性化支援事業】 1件500千円 (助成率 定額 上限500千円)

- ・イブニングセミナー



# ☆きらめき未来塾☆

子どもたちの発想力や創造力、ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出す目的で、各分野で活躍されている方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を開催しました。

## ☆右脳活用道場

直観的なイメージ、柔軟な発想力、創造力を形にする表現力を育てる

講師：森 みちこ 先生（漫画家）

漫画作りを通して、自分のアイデアを絵と言葉で表現する手法を学びました。

自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開、表現方法の難しさを学ぶとともに、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。  
※みんなが描いた漫画は、1冊の漫画本としてまとめました。



漫画の描き方について学ぶ

.....

【8/9】オリジナルキャラクターを描く  
ネームを描く

【8/22】漫画原稿の制作、仕上げ

.....



完成した漫画本



漫画原稿の制作

### 参加者の感想

- 本物の漫画原稿用紙に漫画を描いたり、実際にトーンを貼ったりして、良い体験ができた。
- 漫画を描くために欠かせない技術を学ぶことができて良かった。
- 本格的な漫画を描くのは初めてで大変だったけど、楽しく漫画を描くことができた。

## ☆思考道場

ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかい思考力・発想力を育てる



折って切って開くと...

講師：川口先生、島先生、戸谷先生、前田先生、西尾先生  
(県内小学校教員5名)

多くの応募者の中から選ばれた20名の入門者は、ゲームを取り入れた思考活動、実際につくる操作活動などを通して“算数の楽しさや不思議さ”を体感しました。



クルリンパ

.....

【8/11】「折って切って開くと…」  
「仲間集めゲーム」

【8/17】「クルリンパ」  
「タングラム」

.....



仲間集めゲーム

### 参加者の感想

- ふだん学校では勉強しないような応用問題が出題され、難しかったけど楽しく解くことができた。
- コロナのせいでグループ相談できなかったけど、その分先生がヒントをくれたり、一緒に考えたりしてくれて嬉しかった。



# ★お笑い道場

落語を学び、ユーモアセンス・表現力を育てる

講師：安野家 仁楽齋 氏（社会人落語家、フリーアナウンサー）

本物の落語を味わい、扇子の使い方や落語を話すときの視線の配り方、しぐさ等を学び、また、実際に高座に上がって自己紹介したり落語のオチを練習したりしました。

お笑い大会では会場に集まった家族の皆さんに、小咄<sup>こぼなし</sup>や謎かけ<sup>なぞ</sup>を披露しました。



お笑い大会 小咄披露



お笑い大会 大喜利紅白戦



先生から所作指導

.....

【8/ 1】落語を勉強しよう

【8/12】大きな声で会話しよう

【8/23】お笑い大会（発表会）

.....

## 参加者の感想

- 参加する前は落語がどんなものかわらなくて不安だったけど、実際にやってみたら面白かった。
- 「なぞかけ」や「あいうえお作文」では、面白い作品をたくさん作ることができた。
- お笑い大会では、大勢の人の前で緊張せず大きな声で発表できて、楽しかった。

## ひとつづくり財団からのお知らせ

### 富山県教育記念館の会議室ご利用案内



富山県教育記念館では大会議室1（収容人数：60名）、会議室3（収容人数各24名）の計4室を貸出しています。会議や講演会等でのご利用をお待ちしています。

ご利用のお問合せ・お申し込みは、  
**当館1階受付 TEL：076-433-2770** まで  
 ※受付時間 祝日を除く8時30分から17時まで  
 ご利用料金、空き状況などは、下記URLから確認できます。  
<http://www.t-hito.or.jp/reserve/>

### 賛助会員の募集

富山県ひとつづくり財団では、広く財団の目的に賛同される個人、法人の方々に賛助会員としてご協力いただきたいと考えております。多くのご賛同をお願いいたします。

- 年会費：法人会員 年一口 30,000円  
個人会員 年一口 3,000円
- 特典：機関紙の定期配布（年1回）、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布
- 申込方法：入会ご希望の方は、財団へご連絡ください。

### 公式Twitter

令和3年1月に公式Twitterを始めました。財団の取組みや富山県教育記念館の展示情報を掲載しております。ぜひ、フォローをお願いします。



[https://twitter.com/t\\_hitozukuri](https://twitter.com/t_hitozukuri)



# こんな事業もしています

## 「夢の卵」育成事業

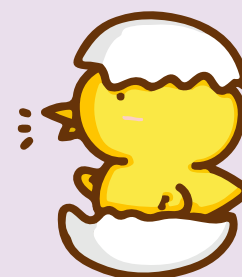
この事業は、ノーベル物理学賞を受賞された小柴 昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画されました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』を持ってもらうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵<sup>かえ</sup>すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして実施しています。（※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止）

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢（＝夢の卵）」を描いた作文を募集し、その中から表彰しています。

### 令和3年度「夢の卵」作品募集について

募集について、以下のように行う予定です。（令和3年3月時点）

- 応募資格  
小学校 5,6年生、中学校 1,2年生  
※県内小中学校生、義務教育学校生に限ります。
- 応募期間  
令和3年4月中旬～5月



## 「学ぼう！ふるさと未来」支援事業

将来にわたってふるさとを愛し、ふるさとに誇りをもつ子どもの育成を願い、地域と連携して「ふるさと学習」に取り組む学校を支援します

令和2年度は次の5校に対し助成を行いました。（助成対象校1校につき10万円助成）

支援助成校	実践テーマ
朝日町立さみさと小学校	発見！わたしたちのふるさと 朝日町 ～朝日町で働く人から学ぶ～
富山市立蝮川小学校	蝮川のすてき探偵団 ～蝮川校区に眠る「すてき」を掘り起こせ！～
富山市立水橋西部小学校	主体的に地域の社会・自然・文化に 関わり、地域を大切に思う子供の育成 ～ふるさと水橋のよさを発見！そして発信！～
高岡市立千鳥丘小学校	ふるさとに学び ふるさとを大切にする 千鳥っ子 ～豊かな自然の恵みと地域に 対する感謝の心をはぐくむ～
南砺市立井波小学校	ふるさとを誇りに思い、ふるさとの未来を考える 井波っ子の育成



# 令和3年度 富山県ひとづくり財団 事業概要

## 1 人づくりに関する調査研究及び普及活動

### ① とやまファン倶楽部事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援する方々のヒューマンネットワークづくりを推進します。

### ② 退職教員等活用推進事業

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。



## 2 元気で創造性豊かな子どもの育成事業

### ① 「夢の卵」 育成事業

### ② 「きらめき未来塾」 事業

右脳活用道場（漫画）、思考道場（算数）、お笑い道場（落語）

### ③ 「高校生とことん科学セミナー」 開催事業

科学に興味のある高校1・2年生を対象に、最先端の科学に触れ、科学者等とひざを交えて語り合う交流の場を持ち、将来の自分の進路について考えてもらいます。

## 3 元気な地域づくり事業

「学ぼう！ふるさと未来」 支援事業

## 4 優れた人材育成支援事業

「とやま賞」 贈呈事業

## 5 教育の歴史文化に関する文献の収集・保管・展示

### ① 企画展及び恒例展の開催

#### 富山県教育記念館1階展示スケジュール

- 【企画展】 4 / 12 ~ 6 / 20 「肖像画で見る郷土の先賢  
SDGs 持続的な開発  
~自然と共生しふるさと富山をつくった人々~」
- 6 / 26 ~ 7 / 5 「文部科学省 教科書検定の紹介」
- 【恒例展】 7 / 14 ~ 8 / 26 「さんすうワールド展」
- 9 / 1 ~ 9 / 28 「子どもの目、自然不思議発見写真展」
- 10 / 1 ~ 10 / 10 「富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展」
- 10 / 20 ~ 11 / 14 「児童・生徒によるものづくり展」
- 11 / 20 ~ 12 / 5 「富山県造形教育作品展」
- 12 / 11 ~ 1 / 9 「アイデアロボット展」
- 1 / 21 ~ 2 / 6 「富山県中学校美術展」
- 2 / 16 ~ 3 / 20 「富山県版造形教育作品展・秀作回顧展」



### ② 教育資料収集

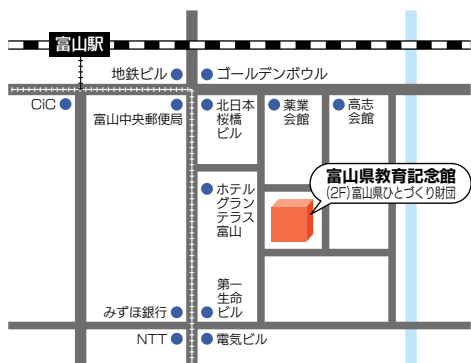
富山県の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集及び整理を行い、各種教育展示等で利用します。

## 6 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対して支援します。

## 7 教育記念館管理運営事業

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行います。



## 公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階  
TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001  
e-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

令和3年3月発行